

匠の技術にふれたくて
知っているようで知らない
ものづくりの現場を訪ねました。

大人の社会見学

朝来市山東町の
「此の友酒造株
式会社」。

手づくり一筋に三百年 但馬杜氏の酒造り

丹精を込めた、こだわりの酒造り

人の和が美味しい酒を生み出す

長年の経験と伝統の技が美酒を醸す



酒造りは11月から始まり、3月頃まで麴造り・蒸し・発酵・寝かし・搾りなどを行う。此の友酒造では、永年使い続ける甕(こしき)で酒を蒸し上げる。「蒸して味が決まる」とも言われる重要な作業。



伝統的な「袋取り」の手法「あらばしり」。モロミを搾る際、圧力を加えず最初にほとばしるお酒は、香り華やかにして豊醇。



創業は元禄3年(1690)、銘酒「但馬」で知られる老舗の蔵元であり、昔ながらの但馬流長期低温醸造法にこだわったお酒は、多くの酒通をうならせてきた。手造り一筋に300年、米を選び抜き、清冽な水と伝統の技をもつて、酒造りに徹している。「よい酒を造るためには、どうしても機械ではない、人の手の感覚が必要です。二手間、二手間が美味しい酒を生み出します」とは、木村祥三社長。酒造りとは、「赤ちゃんを育てるようなもの」と話す。最高責任者である

杜氏は、酒が風邪を引かないよう、味や香りを大きく左右する微妙な温度変化に、日夜気を配っているそうだ。そうした但馬杜氏の技を受け継ぐこの蔵には、全国でも珍しい江戸時代の伝統製法を再現して造った「柱焼酎仕込み」と言われる日本酒がある。現在は日本酒のもろみに醸造アルコールを添加するのが一般的だが、柱焼酎は米焼酎を加えることにより、米の旨みをさらに凝縮させる。同蔵で蒸留された米焼酎「天のひぼこ」を添加して仕上げた逸品は、酒本来の山吹色をしており、まさに柱が通ったしやんとした味わいが特徴。肉料理などの味の濃い料理によく合い、日本酒の深みを芯から味わいたいと言う人におすすめだ。

「世界文化遺産に登録されたように、和食は世界に誇る文化です。これだけ五味のバランスが取れた料理はどこにもありません。日本人はこの奥深い味を感じることができると言っています。この和食に最も合うのが、日本酒。その繊細な舌でもっと日本酒の奥深さを愉しんでほしい」と語る、木村社長。若者を中心に日本酒離れが進む中、地焼酎を使った「ゆず酒」や「もも酒」などのリキュールも開発。少しでもお酒に慣れ親しんでもらいたいとの想いが、商品の数を増やしていった。「伝統」を「未来」へ伝えるべく、飽くなき挑戦を続ける此の友酒造の酒造り。美酒を醸し出す但馬杜氏の心意気が、脈々と受け継がれている。

DATA

■此の友酒造株式会社

兵庫県朝来市山東町矢名瀬町508
TEL.079-676-3035 (月~金/9~17時)
※インターネット通販でも購入が可能。
<http://konotomo.shop-pro.jp>

但馬牛まんじゅう
おかげさまで40年...

但馬牛マン
絶好調! 但馬牛マン

俺が
この地域を守る!

株式会社 但馬寿
遊月亭

ホームページ <http://www.kuromamecha.com> 遊月亭 検索

焼酎・リキュール
ひよこの
地酒
但馬

伝統を未来へ

元禄三年創業
此の友酒造株式会社
兵庫県朝来市山東町矢名瀬町508 TEL . 079-676-3035 <http://www.konotomo.jp/>

ぷらっとミュージアム

知っているようで知らない、あなたの町のミュージアム。お散歩がてら、ぷらっと寄ってみませんか？



いってみようよ

かとうぶんたろうきねんとしょかん

Vol.4 加藤文太郎記念図書館



旧家や石垣の並ぶあじわら小径を散策するもオススメ!



単独行の文太郎

植村直己にも大きな影響を与えた人物

ひんがし 常念岳という山の形

よく見ると壁が山の形に!
実はこれ、適当な山の形ではなく、文太郎が駆け巡った山の形になっているんです!

—山をイメージした建物の— デザインに注目!

階段の壁、書架のサインなど細部にわたり山のイメージを大切にしたデザイン。館外観は北アルプスの嶺をイメージしたもの。館内は中央に吹き抜けを設けた柱のない広々とした空間になっている。



スキー、ピッケル、登山靴などの遺品

手帳など

ここも山の形! 細かいこざめり

山岳図書だけを集めた閲覧室もあり、これだけ充実した図書館は全国でも珍しいといわれています。ぜひ立ち寄ってみてくださいね!

笑顔がステキな図書館のみなさん



案内をしてくれた 重本さん



加藤 文太郎

Buntarou Kato
1905 ~ 1936

新温泉町浜坂出身。単独行の草分けとして知られる社会人登山家。大正～昭和初期にかけて活躍。「単独登山の加藤」、「不死身の加藤」の異名を持ち、国宝的存在とまで賞賛されていたが、友人と一緒に出かけた登山で遭難。その生涯は新田次郎氏の名作「孤高の人」のモデルにもなっている。

—加藤文太郎ってどんな人?—

神戸から浜坂まで歩いて帰る!?優れた身体能力の持ち主!



通勤には石を詰めたリュックを背負って歩くことで足腰を鍛えていました!

20歳頃から著者の登山を始めた

人並みはずれた速さで歩くことから登山仲間にもその名が知られるようになった。

神戸の造船所で働いていた文太郎。休日には神戸から浜坂の自宅まで約160kmの道のりを1日で歩いて帰っていた。

印象的なエピソード

文太郎が行方不明になり、家で夫の帰りを待つ妻の花子。待ちくたびれて眠ってしまった明け方、文太郎が花子の編んだセーターを着て、元気がない様子で帰ってくる。



「あ、よかった」と思ったところで子どもの泣き声で目が覚める。あまりにもハッキリした夢だったため、花子は夢を見たこの日(昭和11年1月6日)を文太郎の命日としたものだ。



この頃の登山は、室内人と荷物持ちを雇って大勢で登るお金持ちのスポーツだけ。

そんなことは気にしない! これが文太郎スタイル!

普段着に地下足袋

1人で登る

大きなリュック

干した小魚は湯城生かきなんだ!

手軽に食事ができるように干した小魚と甘味噌

加藤文太郎 記念図書館

[所] 新温泉町浜坂 842-2
[時] 10:00 ~ 18:00
(土・日曜は 17:00 まで)
[休] 木・第3火・第4月曜
(祝日の場合は翌日)、年末年始、特別整理期間ほか
TEL.0796-82-5251

新温泉町浜坂。情緒あるあじわら小径のすぐ側に佇む「加藤文太郎記念図書館」の2階には、同町出身の登山家・加藤文太郎の遺品や資料を展示した山岳資料室と山岳図書閲覧室がある。資料室には文太郎が愛用した登山靴やピッケル、手帳などが展示されている。

「但馬人気質でストイックな努力家、飾らない人柄が魅力。『孤高』という言葉がピッタリの方だと思えます。文太郎がモデルの小説や漫画などもあるので、ぜひ読んでみてほしいですね」とは、案内をしてくれた重本ゆかりさん。

北は北海道から南は沖縄まで、全国から文太郎のファンが訪れるそうだ。山をイメージしてデザインされた図書館は明るく、心地よい雰囲気。文太郎が駆け巡った山々がモチーフとなっており、ゆつくりとくつろげる空間となっている。今年、図書館開館20周年を迎え、記念イベントを10月頃に開催する予定。ぜひ文太郎の人柄に触れに行ってみてはいかが?

ARを取り込んで動画の見れる名刺・パンフレットをつくりませんか。

お問い合せは **岩見印刷株式会社**
〒669-5321 兵庫県豊岡市日高町土居67-1
TEL.0796-42-1200

営業部 **橋本悠也**
E-mail: hashimoto@iwami-hidaka.co.jp
本社 / 兵庫県豊岡市日高町土居67-1 〒669-5321
TEL.(0796)42-1200(代) FAX.(0796)42-1236

この写真にかざしてね!

QRコード

ダウンロードしてください

juniao アプリ

〈AR操作方法〉

- スマートフォンやiPadで左のQRコードからjuniaoアプリをダウンロードしてください。(無料)
- ダウンロード後juniaoを立ち上げ、画面右上のscanをタッチし、もう1度左のQRコードを読み込んでください。(ピロピロ)と音がすればスキャン完了)
- そのまま左の画像にスマホをかざしてください。動画が写し出されます。(少し時間がかかるかも…チョットがまんして待ってね)

●名刺・パンフレット・ポスター等、印刷物にARを取り込んで、あなたのお店・会社をPRしませんか?